



熱い声援 あいがとうございました！

5月26日（金）晴天。厳しい暑さは感じられず、吹く風は心地よく、絶好のコンディションで運動会が行われました。

ようやく、以前のように「声援あり、制限なし」の運動会になりました。感想は、いかがだったでしょうか？（早速、アンケートへの協力ありがとうございます。）どの種目にも、子供たちが一生懸命に取り組む姿が見られ、とても嬉しく思いました。「短い期間の準備・練習ではあったけれど、最後まであきらめずに取り組む姿勢やひたむきな思いが溢れたよい運動会だった。うちの学校の子供たちと先生たちが一緒に作り上げた運動会は、我ながら良かったなあ！」と誇らしく、自画自賛しています。

さらには、保護者の皆さんの温かい声援、ルールを守った整然とした観戦の様子、車を使わずに来校してくださった方も多く、心配された駐車場での混雑もなかったようです。さらに、多くの方に片付けのお手伝いをしていただき、本当にありがたく思っています。

運動会で育つもの

今年は、5・6年生による応援団が組織されました。1週間程前に校長室にやってきた代表の児童は、「運動会を盛り上げるために、応援団を結成したいです。みんなの心に残る運動会にしたいんです。」と熱い思いを伝えてくれました。高学年になった自分たちが学校を盛り上げていきたいという学校を引っ張っていく意識が高まったのでしょうか。

運動会では、低学年のダンスに合わせて、中高学年の児童たちが「かわいいね。」と応援しながら、楽しげに一緒にダンスをしていました。まるで全校ダンスのようでした。

3・4年生の『運命のフラッグ』では、ゴールまでしっかり走り続ける姿が見られました。ルールを守ること、転んでも最後まで全力で走ることなど、本郷小の伝統が繋がっていくことを、とても嬉しく感じました。

5・6年生のリレー（実に4年ぶり！）では、前のチームとの差が大きくなってもしっかり走りきる姿がありました。『本郷よさこい～2023～』では、高学年の凜とした眼差しがグラウンドの空気を変えてくれました。子供たちの本気の姿、一生懸命な姿勢は美しく、感動を与えてくれました。

こういった子供たちの姿から、まさに、「小さな力が大きな絆 つなげみんなの思い」のスローガンのように、子供たち一人一人の小さな力（がんばる思い）が繋がって、大きな絆になっていくことを感じました。

先生に指示されなくても次のことを考えて自主的に動く係の児童たち、放送では何度も原稿を読み込んできた成果ばかりでなく、アドリブを交えた実況も行われていました。活躍する機会があること、それに向けてしっかりと取り組むことで子供たちは一気に成長します。そんな姿があちこちで見られてとても嬉しく思います。

ご家庭でのさまざまな協力があったからこそです。ありがとうございました。

